



グラスを片手に乾杯する参加者の皆さん

新たな取り組み加えて 新酒を味わう会を開催

新酒を味わう会は10月30日、森のこだま館で入場者を限定し開催されました。毎年、町内外から多くの来場者でにぎわう「森林の収穫祭」に変えて、今回は感染症対策を講じ、小規模での開催に変更。また、コロナ禍でもより多くの人たちにくずまきワインの魅力を伝えようとリモート収穫祭として、工場案内や畑、仕込みの様子などがライブ配信されました。さまざまな制限がある中で、会場とリモート参加者をつないで乾杯を行うなど、新たな取り組みを加えイベントを盛り上げていました。

江保で七五三祈願 健やかな成長祝う

江刈保育園(中崎廣子園長囑託員、園児16人)は11月6日、子どもたちの健やかな成長を祝い七五三の祈願を行いました。子どもたちは、神妙な面持ちで神事を見つめ、床に頭が付きそうなほど、深々と頭を下げて祈願しました。また、「車に気を付ける」「お家の人の言うことを聞く」「知らない人について行かない」の3つを神様と約束しました。園児を代表し、玉串を捧げた前端空翔くん(5歳)は「ちょっぴり緊張したけど、楽しかったです」と少し誇らしげな様子でお話してくれました。



深々と頭を下げて祈願する園児たち

交通事故事故ゼロ 賞賛状に決意新た

町は10月26日に交通事故事故ゼロ5年を達成し、岩手県警察本部長から賞賛状が贈られました。11月17日、総合センターで伝達式が行われ、交通指導隊員らが見守る中、藤林隆博岩手警察署長から鈴木重男町長に賞賛状が手渡されました。藤林署長は「一体となり、1人でも事故に遭わない安全な町をつくっていきましょう」とあいさつ。賞賛状を受け取った鈴木町長は「交通安全活動をより普及、浸透させながら継続させていきたい」と述べました。



賞賛状を受け取り交通事故事故ゼロへの決意を新たにしている関係者たち



5Gを活用した教育の可能性について意見を出し合う生徒ら

地域課題解決に向けて 5Gアイデアソン開催

5Gアイデアソンin葛巻(岩手県主催)は10月19日、葛巻高校の勇往会館で葛巻町学習塾を利用する葛巻高校生を対象に行われました。参加した8人の生徒たちは「新しい学びの場」をテーマに、新しい情報通信技術の5Gを活用し、葛巻町でこれまでにない教育を行うための可能性について検討。柔軟な発想で次々とアイデアを出し合っていました。野中優一郎さん(1年)は「5Gは映像や通信速度の発達だと思っていたが、生活に直接関わることも多く、可能性を感じました」と理解を深めたようでした。

第3回健康(歯科)講話 歯科医もかかりつけを

第3回健康(歯科)講話は10月28日、葛巻病院 活・いきホールで開催され医療関係者など約20人が出席しました。「健康長寿延伸への道は口腔機能の健康管理から」～はじめよう、オーラルフレイル対策～と題して、遠藤歯科医院の遠藤憲正さんが講演。年齢を重ねるとともに心身の活力が低下する「フレイル」は食べることが大切。口腔機能の健康管理が健康寿命を伸ばすことにもつながり、認知症予防にもなると説明し、日頃から、かかりつけ歯科医をもつことの重要性を伝えました。



メモを取りながら真剣に耳を傾ける出席者の皆さんと講師を務めた遠藤憲正さん(円内)

五保ハロウィンパレード 窓越し訪問に笑顔溢れる

五日市保育園(畑中節代園長囑託員、園児16人)の「ハロウィンパレード」は10月29日に行われ、保護者らも参加し約30人が地域住民との交流を楽しみました。園児らは人気のキャラクターやお姫様などの衣装に身を包み、地域をパレード。毎年立ち寄り、子どもたちのかわいらしい踊りを披露して交流を深めている江刈デイサービスでは、感染症対策のため窓越しでの訪問に。手を振りあったり、ガラス越しに手のひらを合わせて心を通わせるなど、ほほ笑みで溢れていました。



窓越しで歓迎する利用者の皆さんに手を振る園児